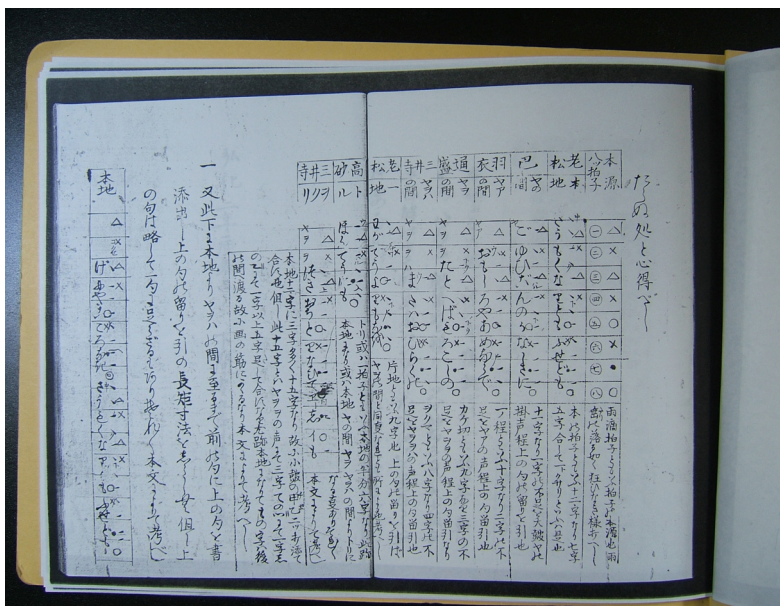
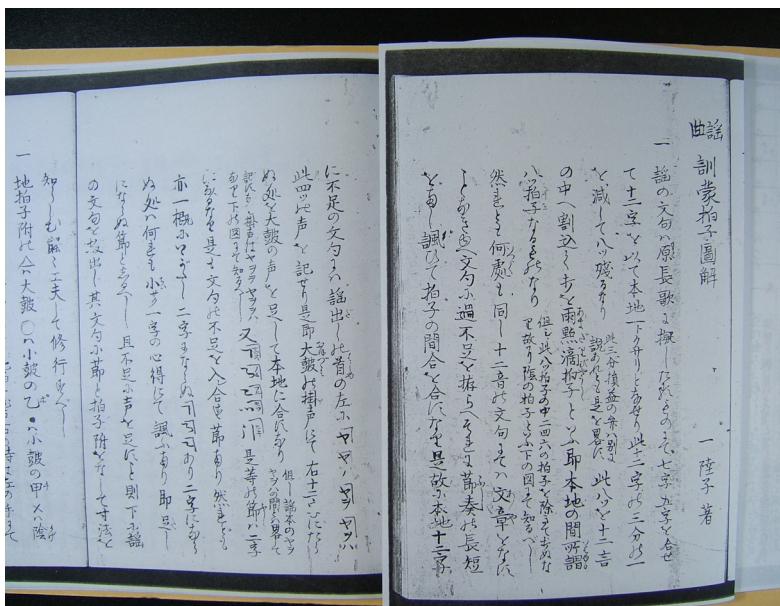


一陸子 『謡曲 訓蒙拍子図解』

八拍子を示す升目の使い方は、『八拍子』(9、10頁)と同じで、升目の中心を拍の当たる位置にとつて
 いる表記方法である。拍子当りの基本と、対応する大小鼓の基本の粒、謡いだし位置のいろいろを示す。
 巻末に「右何れも大概を記すのみ。猶執心の人は拍子筥、軒の玉水、八ツ拍子 鼓笛宝鑑などいへる地拍
 子及び大小鼓本手詳解の書其余数多あるへし」と他書を参照することが薦められている。



標題 内題…謡曲 訓蒙拍子図解

標題紙…

奥附…

その他…訓蒙拍子図解(題簽)

著者 奥附…

その他の場所…一陸子(巻頭)、永鈞堂一

陸子(巻末)

出版 版次…

出版社…

出版年…

その他の場所…

形態 冊数…一冊 頁数…

寸法…

状態 写本版本の別…写本 現物複写の別…複写

備考 弘化二(二八四五)年下間安五郎伝写秘

藏(巻末)。関西大学図書館所蔵。『節謡

示蒙 軒酒玉水』『謡曲奥義 全』と合

綴。